

第74回全国植樹祭基本計画（中間報告）の検討概要

■開催理念（3ページ）

・第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努める。
 ・県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大するための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつなげていく。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信する。

■岡山県の特徴を活かした大会の基本方針（3ページ）

・未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会
 ・岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

第1章 開催概要（5～7ページ）

第2章 式典行事計画（8ページ）

＜開催会場＞
 式典会場：ジップアリーナ岡山
 サテライト会場・PR会場を設置

＜開催規模：約4,000人＞
 県外招待者：950人
 県内招待者：1,700人
 演者・従事者：1,350人



式典会場（イメージ）

＜式典演出計画＞

式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とする。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	森林の軌跡	・招待者を歓迎する気持ちを表現 ・おかやまの林業の歴史と人の関わりを紹介
記念式典	森林への思い	・森林への思いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	豊かな森林を次世代へ	・岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

※演出テーマ及び内容は、式典等専門委員会にて検討中

第3章 植樹行事計画（10～13ページ）

＜お手植え所・お手播き所等＞

・式典会場内にお手植え所、お手播き所、代表者記念植樹地を設ける。
 ・式典会場周辺に、各県代表者等植樹地を設ける。

区分	内容
代表者記念植樹計画	・天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に実施 ・天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種 ・大会後は、本県の森づくりに活用
各県代表者等植樹計画	・式典開始前に植樹を実施 ・天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種 ・大会後は、本県の森づくりに活用
県外招待者へ苗木を贈呈	・岡山から全国へ、身近なみどりを創出
地域植樹計画（詳細は第7章記念事業等計画に記載）	・令和5年度を中心に県民参加による植樹を実施 ・児童など県民が育てた苗木も使用

＜天皇陛下お手植え樹種 3種＞

	アコマツ (抵抗性：桃太郎松)	ヒノキ (少花粉)	スギ (少花粉)
--	--------------------	--------------	-------------

＜皇后陛下お手植え樹種 3種＞

	クロガネモチ	アテツマンサク	キクザクラ
--	--------	---------	-------

第4章 式典会場等整備計画（15ページ）

＜主要施設計画＞

区分	内容
御座所	「大会テーマ」などを表現し、岡山らしさを象徴するデザイン
会場内工作物	県産材を使用し、大会終了後の再利用等による廃棄ゼロを



御座所（イメージ）



歓迎ゲート（イメージ）

第7章 記念事業等計画（25～26ページ）

＜周年イベント＞

・「第74回全国植樹祭」の周知、開催機運の醸成を図るため、1年前・200日前・100日前イベントを開催。
 ・「第74回全国植樹祭」の意義等を継承するため、アフターイベントを開催。

＜緑化意識・機運醸成イベント＞

・県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に開催。

＜地域植樹＞

区分	時期	場所
プレ地域植樹	令和4年 秋頃	津山市阿波 津山市市場 高梁市有漢町有漢 新見市大佐小阪部 鏡野町上齋原 勝央町岡
地域植樹	令和5年 秋頃	津山市阿波
アフター地域植樹	令和6年 秋頃	津山市阿波



第71回全国植樹祭
(島根大会)

＜全市町村参画による記念植樹＞

・令和5年度を中心に、全市町村において、記念植樹の実施を検討。

＜苗木のホームステイ・スクールステイ＞

・第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験の実施。